

かつたっ子 15の春プロジェクト

～心・育ち・学び・夢をつなぐ～

勝田中学校区保幼小中連携推進について

勝田中学校区保幼小中連携推進委員会

代表 勝田中学校長 西村 睦美

1. 目的

- 勝田中学校区の子どもたちの保幼小中 15年間の育ちをつなぎ、一人一人の夢を実現する力を身につけさせる。【キャリア教育の視点】
- 中学校卒業時までの 15年間を見通した健全な心と体を育成し、社会を生き抜く力を身につけさせる。【生きる力の育成】
- 規範意識を確立し、社会人としての自覚と責任が持てる素養を身につけさせる。【規範意識の確立】
- 子どもたち一人一人の豊かな心と確かな学力を保障し、各校・園で個々の特性を生かした力を発揮させる。【居場所づくり】

2. 組織

- 勝田中学校区保幼小中連携推進委員会は、ひまわり園・勝田小学校・梶並小学校・勝田東小学校・勝田中学校の連携を推進する会である。
- 推進委員会は、勝田中学校区の校・園長をもって組織し、代表（委員長）は、当該年度の勝田分室校・園長会議において決定する。
- 推進委員会の事務局は、代表校の教頭とし、保幼小中の連携にかかわる事務を担当する。
- 推進委員会のもとに、次の会を置くものとする。

- | | |
|-------------------------|-----------|
| ①学力向上部会（合同研修会を含む） | 勝田東小・春名校長 |
| 4校の教頭が企画運営、教務主任の力量を高める。 | |
| ②生徒指導部会（保幼小中生徒指導連絡会） | 勝田中・西村校長 |
| ③養護部会 | 勝田中・西村校長 |
| ④学校事務部会（事務共同実施） | 勝田小・片山校長 |
| ⑤道徳部会（道徳教育推進協議会） | 勝田小・片山校長 |

3. 名称

- 勝田中学校区保幼小中連携を総称して「かつたっ子 15の春プロジェクト」とする。（略称『15の春プロジェクト』）

4. 保幼小中連携のテーマ

- 上記1の目的を達成するためのテーマを「心をつなぐ 育ちをつなぐ 学びをつなぐ 夢をつなぐ」とする。（略称『心・育ち・学び・夢』）

5. 学校教育目標

勝田小学校

人間尊重の精神を基調に豊かな心を持ち、
自ら学び考えて、共に伸びようとする勝田の子の育成

勝田東小学校

「もっと知りたい！わかりたい！できるようになりたい！
学ぼう のびよう 東っこ」の育成

梶並小学校

自ら考え、心豊かで たくましい実践力を持つ子供の育成

勝田中学校

夢をもち 心豊かに たくましく 生きる生徒を育てる

6. 具体的な内容

(1) 心をつなぐ

- おもいやりの心：相手の気持ちがわかる子、人の痛みに気づく子
- すなおな心：素直に「ごめんなさい」と言える子
- 感謝の心：「ありがとう」という感謝の気持ちが持てる子

(2) 育ちをつなぐ

- 早寝・早起き・朝ごはん
- あいさつ・返事：大きな声で、元気よく
- 時間：チャイムで動くチャイム着席、チャイムスタート
- そうじ：前より美しく
- けじめ：目で見て、目で聞いて、目で考える。
- 学習規律と生活規律

(3) 学びをつなぐ

- 学年に応じた各学カテストの分析と具体的な対応策、授業改善策
- 学びのスタンダード
- 基礎学力の反復練習と徹底
- 児童・生徒の力をつける授業改善
 - ①ICT 教育の推進（ICT 機器の活用）
 - ②ユニバーサルデザインの視点が生きる授業展開
 - ③すべての教育活動に取り入れる「書く活動」
 - ④スモールステップの確認
 - ⑤振り返りシート、学校評価の反映
- ユニバーサルデザインの視点を持った学級、学校
- コミュニケーション能力を高める教育活動
- 「思考力・判断力・実践力」を養う教育活動

(4) 夢をつなぐ

○「生き方」サポート

①夢を持ち、夢を実現させようとする意欲を持たせる。

「将来どんな人になるか、どんな夢があるか、どんな生き方をするのか」等、考える機会や意識を持たせる。

②社会生活を送る上での、自覚と責任を育てる。

③社会での自立を果たす。

将来の就労を意識し、国民としての義務を果たす体力・気力を育てる。

○「つながり」づくり

①人と人との「つながり」を意識させる活動

②「つながろう」とする気持ちを育てる活動

③「つながり」をつくることのできる活動

7. 推進計画

(1) 授業改善→基本は「学校完結主義」で！

「学年完結」ではあるが、つまずきに立ち戻って「スパイラル方式」で！

①ICT 教育の推進

- ・デジタル教科書による授業展開の研究
- ・各種 ICT 機器を活用した授業展開の研究

②ユニバーサルデザインの視点を生かした授業改善

- ・視覚を助けるミニボード etc.

③「書く」活動の工夫

④スモールステップの確認

⑤振り返りシート、授業評価（児童・生徒アンケート等）の活用

(2) 学力向上（9年間の学びをつなぐ）

①学力分析と学力向上のための具体策の検討と実施

- ・学校として行うこと
- ・学級担任、教科担任として行うこと

継続・反復・確認・徹底

②家庭学習の習慣形成

- ・家庭学習時間の確保
- ・家庭学習の内容を明示
- ・課題提出のチェックと徹底

小1から中3
までのステップ
を考えて

(3) 学校交流・授業交流

①3小学校合同の交流企画

②授業交流

- ・中学校から3小学校へ
英語科によるプレ English
→入学説明会を活用して3校6年生対象に行う。
- ・小学校から中学校2年へ、『私たちの道徳』授業交流

③授業参観

- ・中学校から3小学校へ
- ・小学校から中学校へ

(4) 職員研修

①校内研修

合同テーマ『学ぶ意欲をもち、自己表現の力を育てる』

- 自分の考えを持ち、正しく伝える力
- 4領域の力（話す、読む、書く、聞く）
- 基盤としての確かな学力

勝田小学校 「意欲的に学び、生き生きと活動する子どもをめざして」
～知識を広げ、自ら考え表現する児童を育てる授業づくり～

梶並小学校 「きらきら輝くかじの子をめざして」

『思考力を鍛える』

～「筋道を立てて考える力」を育てる～

◇学習指導法の工夫

（授業5…□めあて □自分で考える □目標達成の確認
□まとめる □振り返る）

◇基礎学力の定着 ◇読書の習慣づけ

勝田東小学校 「どの子ども意欲をもち、「わかる・できる」ようになる授業づくり」
～算数科を中心にして～

勝田中学校 「知力・体力・心力をつける教育活動の実践」

～生徒の活力が見える指導の工夫～

②合同研修会

- 第1回（夏季休業中）→ユニバーサルデザインに関する研修？
- 第2回（12月）→『15の春プロジェクト』での取組について？

③ユニバーサルデザイン研修

- 勝田東小学校での授業研修（学期1回、年3回程度？）

→講師を招聘して、通常学級の授業を参観

その後の研究協議で、ユニバーサルデザインの視点をもった学級掲示や授業の進め方のポイントを講師の先生が具体的に率直にアドバイスしてくださる。

※この研修を『15の春プロジェクト』で各校の校内研修に生かせないか？

(5) 小学校から中学校へ

①キャリア教育の視点でつながる。

- 「夢」を育てる。「個性」はわがままではなく、「特性を知ること」
- 「夢」を見る基盤となる「将来を考える力」「確かな学力」をつける。

②中1ギャップの解消

- 日常の児童・生徒理解を積み重ねる。
- 学習の積み上げ

(6) 園から小学校へ

①「心」「育ち」の部分で、『15の春プロジェクト』に取り組む。

②小学校への入学に向けた連結

8. 課題

- (1) 教頭の動きをつくる。
- (2) 教務主任を育てる。
- (3) 教職員の意識改革